議事録作成者:事務員 柏倉由紀子

令和7年度 第2回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 (議事録)

日 時 令和7年7月29日(火)13時30分から14時00分まで

場 所 日本海総合病院 ミーティングルーム

出 席 者 第2回在宅医療・介護連携推進業務運営会議 出席者名簿のとおり

議 事 以下のとおり

1 開会

2 報告

- 1) 第3回医療サポート研修会報告(在宅医療・介護連携支援室ポンテ)
 - ▶ 【資料1】のとおり報告された。
- 2) 人的資源の地域での活用研修会報告(在宅医療・介護連携支援室ポンテ)
 - ▶ 第1回 7/10(木)地域包括支援センターほくぶ 20名 「認知症の看護と介護」
 - ▶ 第2回 7/16(水)特別養護老人ホーム山水園 14名 「褥瘡予防の留意点」
 - 会場にテーブル準備できない時事前に教えてほしい→ギリギリまで申込受付している。 前日まで人数が確定しないため、研修会でテーブルの有無迄広報することはできない。
 - ◆ 人的資源活用研修会は謝礼金の準備が必要か?との質問あり→HP、チラシ等に費用についての記載がなかったために無料と明記した。
 - 介護職に就いて間もない方、外国人の方等、現場で教育に時間を要する場合など、根拠に基づいた基本の技術研修を医療サポート研修として位置づけ実施してみてはどうかとと検討中である。→現場に従事していないケアマネジャーでも、基本を知っていれば在宅のヘルパーに伝えていけるので、研修会で知識・技術を学ぶことは有効である。

3 その他

- 1) 各団体より
 - I. Team について (日本海総合病院 病院改革推進室)
 - ▶ 【資料】に沿って報告された。
 - (1) 事業所登録数…156 施設
 - (2) 患者登録者数…112名
 - (3) 今後の予定… 利用者数を拡大。(名寄市は要介護認定者の9割以上が登録) 在宅療養中の心不全の方の健康観察・情報共有 iPhone・iPad 用アプリの導入で利用促進

近隣市町村の事業所との連携

- (4) 救急隊との連携について…検討中。業務効率化につなげたい。
- Team 運用の変更点・・・Team 登録者が亡くなった場合、非表示にせず、"●"黒丸をつけて表す。
- 新規利用者を増やす取り組みの一つとして、介護認定の申請書類を送付する際 Team の利用同意書用紙を同封できないか、酒田市に検討していただきたい。要介護認定者 6,800~7,000 人の 10% (600~700 人) の登録が目標。
 - →介護保険証送付時はどうか?
 - →介護認定申請時は親族の連絡先も必要なので、同時に提出は良いと思う。但し、現在認定に時間を要している状態なので、さらに遅れる原因にならないよう課内、認定係と協議が必要(酒田市)
- 遊佐町の連携の状況について→遊佐病院(居宅・訪問看護ステーション等)と連携している。他の居宅・特養とも連携したいが、費用面で検討中。
- 包括は要支援など ADL がほぼ自立しているの方の担当で、Team 利用者が少ない。介護認 定申請時は登録の機会となり、拡大していくのではないかと感じている。
- Ⅱ. 今後開催予定の研修会について
 - ・7月30日(水)第1回医療と介護の合同研修会
 - ・8月29日(金)第4回医療サポート研修会
- 4 閉会

以上

第2回在宅医療·介護連携推進業務運営会議 出席者名簿

(敬称省略)

所 属	氏 名
庄内町 保健福祉課 高齢者支援係	阿良 佳代子
遊佐町 健康福祉課 介護保険係	菅原 恵里
遊佐町 健康福祉課 介護保険係	後藤 友美
酒田市地域包括支援センター はくちょう	佐藤 篤
酒田市地域包括支援センター かわみなみ	菅原 由江
酒田市ケアマネジャー連絡協議会(居宅介護支援事業所はな)	渡部 由佳
酒田市 高齢者支援課 地域包括支援係	長沢 一貴
日本海総合病院 病院改革推進室	池田 恒弥
日本海総合病院 病院改革推進室	岡部 幸大
日本海総合病院 病院改革推進室	本間 真臣
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	佐藤 由枝
在宅医療・介護連携支援室 ポンテ	柏倉 由紀子